

活動報告

団体名	NPO 法人 KIプロジェクト
活動名	熊本県益城町の方々のための心の支えになるための活動
活動期間	2016/04/16 ~ 2016/09/30
活動の成果	<p>○現地団体との信頼関係 現地の団体に集まってくる地元の細かいニーズに対して炊き出しや片づけの作業をしたことにより、現地の方々との信頼関係が築くことができた。</p> <p>○炊き出し活動の必要性 地震直後の食べるものがないから食べ物を提供するという空腹を満たすための炊き出しから、時間の経過と共に食べる楽しみを提供する炊き出しを心がけた。</p> <p>○片づけ作業の実施 片づけ班は、被災した家から家財道具を運び出したり、ごみ集積場へ運搬したりという作業を行い、とても喜んで頂いた。</p> <p>○傾聴による癒しの効果 ボランティアの合間やボランティアが終わってからなど、積極的に被災した人の話を傾聴することで癒しを提供することができた。</p> <p>○熊本地震に関する啓発活動 参加者には中学生や専門学校生、大学生も多く、この活動を通じて若い世代の人たちに熊本に関する関心を高めたり、ボランティア精神の育成につながっていると考える。</p> <p>熊本の現状を伝えたり熊本地震への支援がまだ終わったわけではないということの啓発につなげた。また参加者からは、現地の状況を目の当たりにして、参加した人を通じて啓発することにつながる。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>この度は、熊本地震の私たちの活動に対して活動するための資金を提供して頂き、誠にありがとうございました。地震発生当初から活動を始めましたが、食材や機材の準備、バスの手配や参加者集めなど、活動のための準備がたくさんある中で、資金集めも並行して行わなければならない大変さがありましたが、赤い羽根を通じて資金を頂けことにより、安定して継続的に活動ができました。今回の9回の活動に延べで226人のボランティアに参加してもらうことができました。これも偏にご寄付頂いた皆様方のお陰です。心から感謝申し上げます。</p> <p>私たちがこの活動を通じて被災したたくさんの方々から感謝の言葉を頂きました。食事を提供して喜んでくださる方や、被災した住宅の片づけを手伝い喜んでくださる方、そばで話を聞くだけでも喜んでくださる方もいて、9回の活動ができたことは本当に意義のある活動でした。</p> <p>参加した人は若い人も多く、小学生や中学生も参加してくれました。若い世代の人が小さい頃からボランティアに関心を持ち、被災した地域を目の当たりにすることで、防災や減災に対する意識の啓蒙やボランティア精神の育成につながるものと考えています。この経験が必ずや将来起きるであろうさまざまな自然災害に役立つと考えています。</p> <p>ご自宅が住めなくなった方もたくさんいらっしゃるので、被災した地域の方々が落ち着いた生活ができるようになるまではまだまだ時間がかかると思います。</p> <p>私たちも今後も活動を続けて参ります。どうぞ皆様方も被災した地域に思いを</p>

寄せて頂き、引き続きご寄付頂けますよう被災した人に成り代わりましてお願い申し上げます。

寄付を頂きましたすべての皆様に改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

(活動のようす)

